

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-イ	大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進	施 策	①社会基盤等の防災・減災対策
			施策の小項目名	○高潮及び潮風対策の推進
主な取組	海岸保全施設整備事業（農村振興局所管海岸）		対応する成果指標	防災拠点となる公共施設等の耐震化率
施策の方向	・高潮及び潮風害対策については、景観や生態系等の自然環境に配慮するとともに、背後地の状況を考慮した海岸保全施設や防風・防潮林等の整備に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
海岸法に基づいて指定された海岸保全地域における津波、高潮、波浪による被害からの海岸および背後農地を防護し、農業生産の安定と併せて国土の保全を図る。	県	農村振興局所管海岸の整備(高潮・侵食対策)		
		整備地区数(内訳)		
		2地区	2地区(継続2地区)	2地区(継続2地区)
担当部課【連絡先】	農林水産部農地農村整備課【 098-866-2285 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

海岸保全施設整備事業費

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ハード)

直接実施

36,110

163,001

令和7年度活動内容

北浜地区（中城村）ほか1地区において、海岸保全対策整備を実施した。

予算事業名

海岸保全施設整備事業費

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ハード)

直接実施

67,003

令和8年度活動計画

北浜地区（中城村）ほか1地区において、海岸保全対策整備を実施する。

活動指標名

整備地区数（内訳）

R5年度

R6年度

実績値

—

—

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

2地区

2地区

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

北浜地区（中城村）ほか1地区において、海岸保全対策整備を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

進捗状況について、目標値2地区に対し、2地区の実績であったため「順調」と判断した。また、北浜地区においては、用地買収不可の箇所を含んだ残工区の整備方針を取りまとめたことから残工区の設計および測量を実施し、整備完了に向けた進捗が見られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○ 執行・計画担当者を含む組織全体で適切に情報共有し、次期採択予定地区へ確実にフィードバックする。

地元漁協者とは綿密に調整をし、漁業活動には影響がないような整備を計画することを実施した。また、養浜を行う地区では調査・設計を実施し、効率的な整備計画を立案をした。

- 2 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	事業実施にあたり、漁業活動や自然災害の発生を考慮した整備計画の立案が必要となってくる。	⑧ その他	漁業活動や台風時期などを考慮した整備計画を実施する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-イ	大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進	施 策	①社会基盤等の防災・減災対策
			施策の小項目名	○高潮及び潮風対策の推進
主な取組	海岸保全施設整備事業（水産庁所管海岸）		対応する成果指標	防災拠点となる公共施設等の耐震化率
施策の方向	・高潮及び潮風害対策については、景観や生態系等の自然環境に配慮するとともに、背後地の状況を考慮した海岸保全施設や防風・防潮林等の整備に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
台風発生時に高潮・波浪による被害から背後地を守るため護岸または人工リーフ等の海岸保全施設の整備により防護機能を確保する。	県,市町村	海岸保全施設の整備(高潮・津波対策)		
		整備地区数(内訳)		
		1地区	1地区(継続1地区)	1地区(継続1地区)
担当部課【連絡先】	農林水産部漁港漁場課		【 098-866-2305 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

海岸保全施設整備事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ハード)

補助

71,720

295,920

令和7年度活動内容

勢理客漁港海岸および塩屋漁港海岸で海岸保全施設を整備した。

予算事業名

海岸保全施設整備事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ハード)

補助

122,800

令和8年度活動計画

勢理客漁港海岸海岸保全施設を整備する。

活動指標名

整備地区数（内訳）

R7年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

—

—

2地区

1地区

100.0%

順調

海岸保全施設の整備を勢理客漁港海岸および塩屋漁港海岸で実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

整備の目標値 1 地区に対し、実績値は 2 地区となっていることから、進捗状況は「順調」と判断した。海岸保全施設を整備し、台風時や荒天時による高潮被害（越波または浸水被害等）からの公共土木施設被害リスクが低減された。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

整備にあたって漁業活動に影響がないよう漁協や地元住民関係者と調整する。また、養浜を行う地区では今年度の調査・設計で安定して行えるよう留意する。

漁協や地域住民等関係者と調整した結果、収穫時期に工事を中断するなど、モズク養殖に支障のない整備を実施している。

- 5 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	事業主体である市町村の人手不足等により、補助金の交付遅れ、それに伴う発注の遅れが発生している。	⑤ 情報発信等の強化・改善	市町村への補助金の交付に関して、説明会を実施し、補助金の早期交付を促すことで事業効果の早期発現に努める。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-イ	大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進	施 策	①社会基盤等の防災・減災対策
			施策の小項目名	○高潮及び潮風対策の推進
主な取組	防風・防潮林の整備		対応する成果指標	防災拠点となる公共施設等の耐震化率
施策の方向	・高潮及び潮風害対策については、景観や生態系等の自然環境に配慮するとともに、背後地の状況を考慮した海岸保全施設や防風・防潮林等の整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
保安林の防風・防潮機能を維持強化するための森林の造成又は改良等を行う。	県	防風・防潮林の造成による保安林の整備		
		防風・防潮林の整備面積(累計)		
		1.5ha	1.5ha(3.0ha)	1.5ha(4.5ha)
担当部課【連絡先】	農林水産部森林管理課 【 098-866-2295 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/ringyo/1010880/1010849.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	治山事業費（補助金事業費）			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
		664, 767	502, 975	
内閣府計上	直接実施			

令和7年度活動内容				
保安林の防風・防潮機能を維持強化するための森林造成又は改良等を行う。				

(単位：千円)

予算事業名	治山事業費（補助金事業費）		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
内閣府計上	直接実施	664, 581	

令和8年度活動計画	
保安林の防風・防潮機能を維持強化するための森林造成又は改良等を行う。	

活動指標名	防風・防潮林の整備面積（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	0. 6ha	1. 5ha	40. 0%	大幅遅れ	
台風等による潮風害から、民家、畑又は公共施設等を保全するため、4 地区0. 6haの防風・防潮林の造成又は改良をし、機能強化を行った。また、整備した防風・防潮林の保育のほか山地災害対策等を行った。							

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値1.5haに対し、実績値は0.6haであった。進捗状況は「大幅遅れ」と判定している。 その要因は、生命・財産を保全する山腹崩壊、地すべり等、より緊急度の高い事業を優先したためと思われる。令和7年度の決算見込み額が、令和6年度より約1.6億円減となるのは、繰越率を縮減（58%→16%）したためである。整備した防風・防潮林は、保育し成長を促すことで、背後の民家や畑の保全が図られている。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度 of 取組改善案	反映状況
円滑な防風・防潮林の整備に向け、関係機関との丁寧な調整と事業の早期発注に努める。 地元の要望・意見等を精査したうえで、事業採択要件に見合うよう事業範囲の選定や条件整備を行い、事業を実施する。	関係機関と丁寧な調整を行い、早期発注に努めたことにより、現地の状況及び地元の要望を反映した施工となった。 保安林制度及び治山事業について、その目的や事業内容を説明会やメールを通じて関係市町村等へ周知し、地元からの要望・意見等の情報収集に努めた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	法令に基づく許可行為手続、施工に伴う計画変更、資材の納期遅延等により不測の日数を要し、適正な工期が確保されず、事業を繰り越すまたは事業費の不用が生じるケースがある。	① 執行体制の改善	工事及び委託業務の発注に向けた事務手続きを年度前から事前準備するほか、想定される関係機関との調整を速やかに行うなど、事業の早期発注に努め、円滑に防風・防潮林の整備を推進する。
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	地元から事業要望を受けても、保全対象、事業規模、土地所有者の同意などから採択要件を満たさず、実施困難となるケースがある。	② 連携の強化・改善	地元の要望・意見等の精査、十分な机上調査・現地踏査、関係省庁や土地所有者等との緊密な業務調整を行い、事業採択要件を満たす内容となるよう努め、事業の着実な実施に繋げる。